

基本目標

1

一人ひとりがいつまでも 元気でいられるまち

高齢者の人口が急速に増加し、また、長寿化が進む中で、人々の健康志向が高まっています。その一方で、食生活や生活環境の変化により生活習慣病を抱えたり、生活の中の様々なストレスから心身のバランスを崩してしまったりする人が増えています。

市民一人ひとりが元気に暮らしていくためには、主体的に健康づくりに取り組む意識をもつことが重要です。

大和市は、一人ひとりが心身の健康を保つことができるよう様々な支援を行うとともに、病気やけがをしたときには、安心して医療を受けられる環境を整えていきます。

また、困ったときに助け合う仕組みや、必要に応じて公的サービスを利用できる制度が整っているなど、誰もが地域の中で充実した生活を送ることのできる環境づくりにも取り組んでいきます。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、一人ひとりがいつまでも元気でいられるまちづくりを推進します。



基本目標を実現するための個別の目標



個別目標

1-1

心身の健康を維持・増進する

一人ひとりが健康を意識し、健康づくりに取り組み、身体・心の健康が維持・増進される環境をつくれます。

個別目標

1-2

いつでも必要な医療が受けられる

救急医療体制を充実するとともに、地域の医療施設と市立病院が連携し、必要なときに適切な医療を受けられる体制を整えます。

個別目標

1-3

支えあいによる地域福祉を推進する

自助、共助、公助の役割分担を踏まえた支えあいによる地域福祉を推進します。

個別目標

1-1

心身の健康を維持・増進する

日頃から健康を意識し、健康づくりに取り組むことは、心身ともに充実した人生を送るうえで欠くことができません。すべての人が自ら健康管理を行えるよう健康教育を推進するとともに、健診や相談の体制を充実していくことが求められます。また、感染症[※]や食中毒などの被害から市民を守るとともに、近年、深刻な社会問題となっている自殺者の増加に歯止めをかける取り組みを進めることが重要です。

大和市は、一人ひとりが健康を意識し、健康づくりに取り組み、身体の健康、心の健康が維持、増進される環境づくりを進めます。

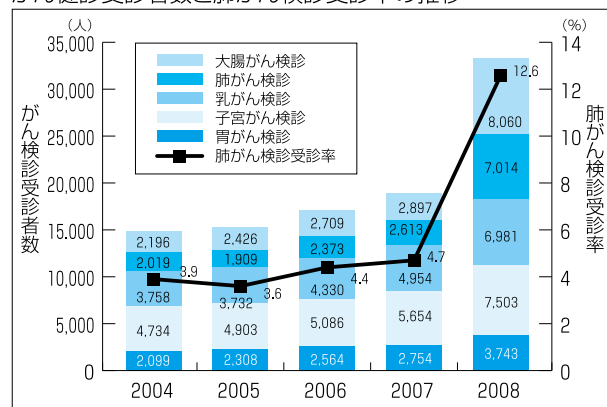


※感染症
微生物が体内に侵入し、繁殖したために起こる病気のこと。人から人へ伝染するものとしなものがあります。

基本目標を実現するための個別の目標

1	めざす成果	市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる		
		市民一人ひとりが健康診断や各種検診を受診することにより、自らの健康状態を把握し、健康管理に努めています。		
	成果を計る指標	自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		60.2%	69.0%	75.0%
	成果を計る指標	肺がん検診受診率		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		4.7%	20.0%	27.5%

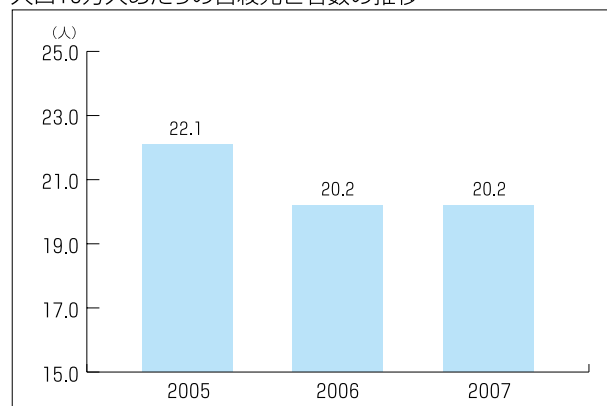
がん健診受診者数と肺がん検診受診率の推移



資料:健康づくり推進課(各年度集計)

2	めざす成果	心身の健康を維持するための体制が整っている		
		感染症、食中毒の予防対策や効果的な自殺対策の実施などによって、心身の健康が維持されています。		
	成果を計る指標	65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		38.4%	46.0%	50.0%
	成果を計る指標	自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺死亡者数)		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		20.2人	17.7人	16.4人

人口10万人あたりの自殺死亡者数の推移



資料:健康福祉総務課(各年度調査)



個別目標

1-2

いつでも必要な医療が受けられる

高齢者人口の増加などに伴い、医療に対するニーズは多様化する傾向にありますが、全国的に病院に勤務する医師が不足していることなど、地域医療を取り巻く状況は厳しくなっています。

市民が安心して生活を送るためには、救急医療の体制が確立されていることや、質の高い医療が提供されていることが大切です。

大和市は、救急医療体制を充実させるとともに、市立病院を地域の基幹病院として、医療施設相互の連携を図りつつ、それぞれの役割分担を明確にし、必要ときに適切な医療を受けられる体制を整えます。



※休日夜間急患診療所

休日や夜間の医療機関が開いていない時に、内科や小児科の軽症患者を受け入れる診療所です。大和市には地域医療センター内に設置されています。

※一次救急

入院や手術を必要としない日常的な疾病に対応する救急医療（機関）を言います。

※二次救急

入院治療等を必要としたり、比較的专业性の高い治療を行える救急医療（機関）を言います。

※紹介率

市立病院を受診した患者の中で、他の医療機関からの紹介を受けて受診した患者数の割合です。市立病院がどの程度、他の医療機関と連携できているかの目安となる指標です。

基本目標を実現するための個別の目標

めざす成果

いざというときに診療を受けられる

夜間や休日でも医療を受けられる体制が整っていて、急な病気やけがの際に診療を受けることができます。

1

成果を計る指標

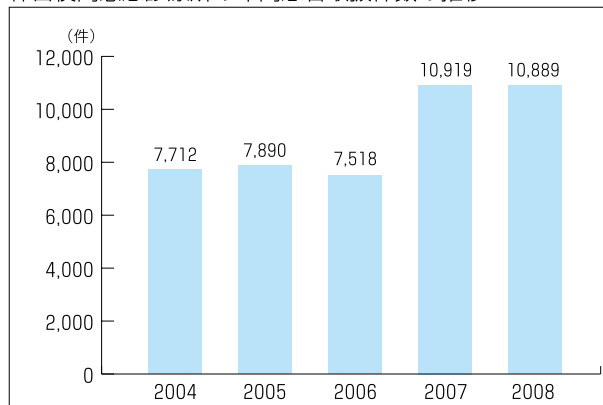
休日夜間急患診療所*（一次救急）*の年間患者取扱件数

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
10,919件	11,200件	11,260件

二次救急*での中・重度患者年間取扱件数

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
3,118件	3,540件	3,860件

休日夜間急患診療所の年間患者取扱件数の推移



資料:健康づくり推進課(各年度集計)

めざす成果

市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

医療の高度化や地域連携が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。

2

成果を計る指標

医師の総数

現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
65人	79人	79人

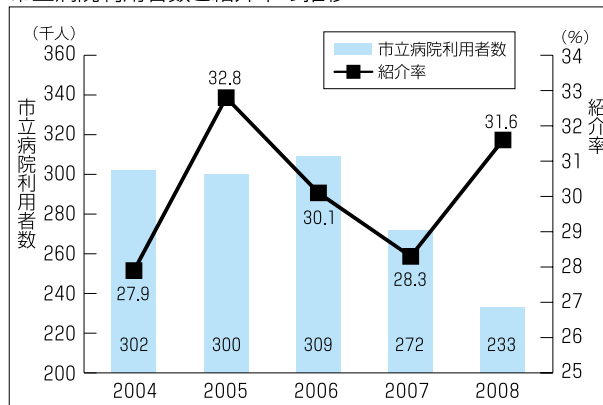
紹介率*

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
28.3%	38.0%	42.0%

市立病院における経常収支比率*

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
88.9%	100.0%	100.0%

市立病院利用者数と紹介率の推移



資料:市立病院医事課(各年度集計)



※市立病院における経常収支比率
経常収益を経常費用で除した比率で、企業会計である市立病院においては、その数値が高いほど経営が安定しているとみなされます。

個別目標

1-3

支えあいによる地域福祉を推進する

地域の中で、生活に不安を抱えたり、介護を必要とする高齢者が増えています。

こうした高齢者や障がいのある人が、住み慣れた地域で生き生きと自立した生活ができるよう、地域全体でサポートし、必要なときに適切な支援が受けられる体制を整えることが求められています。また、国民健康保険や、高齢者を対象とした医療制度などが安定して運営されていることも重要です。

大和市は、自助、共助、公助^{*}の役割分担を踏まえた支えあいによる地域福祉を推進します。



基本目標を実現するための個別の目標

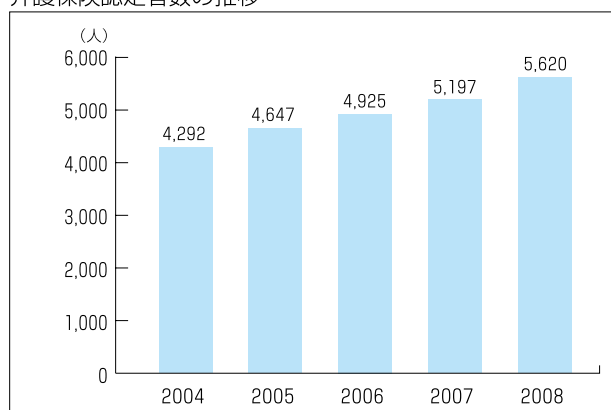
1	めざす成果	お互いに助け合う地域の関係ができています		
		日頃から、近隣の人たちのコミュニケーションがとれていて、困ったときにはお互いに助け合う関係ができています。		
		地域に支え合う人のつながりがあると思う市民の割合		
1	成果を計る指標	現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		36.6%	40.0%	43.0%

2	めざす成果	必要な介護サービスの支援が受けられる		
		加齢などにより身体機能の低下が生じた場合も、必要な介護サービスを利用しながら、地域の中で安心して生活を送っています。		
		介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合		
2	成果を計る指標	現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		35.9%	50.0%	60.0%
		介護保険サービス利用者の満足度		
2	成果を計る指標	現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		75.1%	78.0%	80.0%
		介護保険申請制度の周知割合		
2	成果を計る指標	現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		71.1%	85.0%	100.0%

3	めざす成果	高齢者が生き生きと暮らしている		
		高齢者が暮らしやすい生活環境の中で、生きがいをもって生活しています。		
		高齢者が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合		
3	成果を計る指標	現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		47.6%	50.0%	52.0%
		シルバー人材センター*の会員数		
3	成果を計る指標	現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		688人	1,200人	1,300人

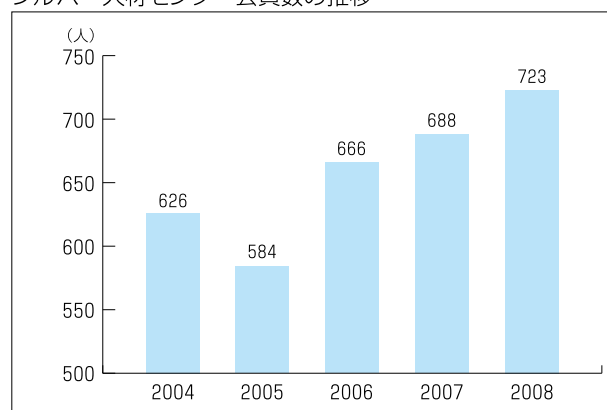
4	めざす成果	障がい者が地域の中で自立した生活を送っている		
		地域に障がいのある人の活動の場や社会参加の場があり、その人らしく生き生きとした生活を送っています。		
		障がい者の地域移行率*		
4	成果を計る指標	現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		21.5%	29.4%	33.4%

介護保険認定者数の推移



資料:介護保険課(各年度集計)

シルバー人材センター会員数の推移



資料:高齢福祉課(各年度集計)

※自助、共助、公助

自分自身や家族による自立、地域や市民による支えあい、公的な援助の3つが役割を分担しながら、ともに支えあうという考え方です。

※シルバー人材センター

高齢者の豊かな経験と能力を生かし、就業を通じて自らの生きがいの充実や福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的とした団体です。

※地域移行率

障がい者が入所施設や長期の入院などから退所、退院をして、地域のグループホームやケアホーム等に移行し生活を送っている割合です。